

ヒグマについてのお知らせ

4月上旬の村内ヒグマ活動情報は例年より低調で、山林内での痕跡情報のみでしたが、下旬からは急激に目視情報が増え始めました。4/26日～4/28日には道道の河川沿いで親子グマの目撃情報が続きました。定着的に出現しており、人に威嚇するなど攻撃的な個体ようです。下図出現地点（ポントマム合流[○]）ではなるべく車から降りないようにしましょう。

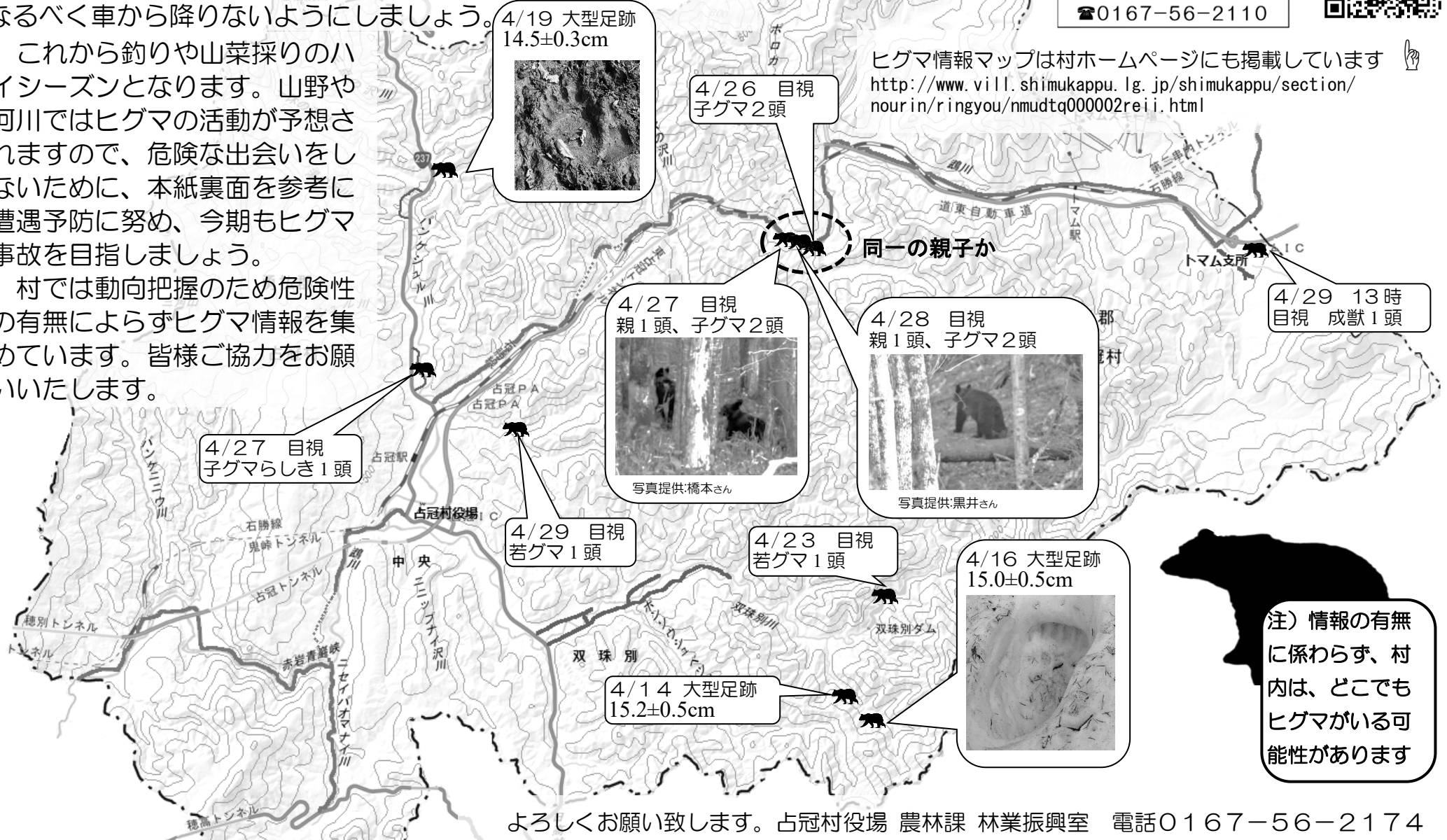
これから釣りや山菜採りのハイシーズンとなります。山野や河川ではヒグマの活動が予想されますので、危険な出会いをしないために、本紙裏面を参考に遭遇予防に努め、今期もヒグマ事故を目指しましょう。

村では動向把握のため危険性の有無によらずヒグマ情報を集めています。皆様ご協力をお願いいたします。

ヒグマ情報の連絡先
 占冠村役場 農林課
 林業振興室 野生鳥獣担当
 ☎0167-56-2174
 占冠駐在所
 ☎0167-56-2110



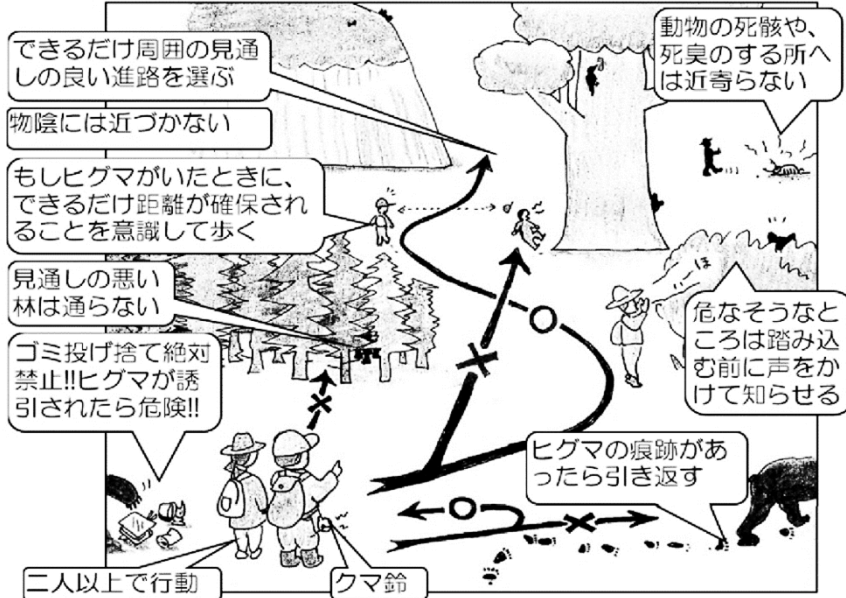
ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>



春の野山はヒグマに注意!!

『ヒグマの生息地に入らない』は事故防止の即効薬ですが、長い目で見れば、私たちが森林に分け入り、ヒグマと出会い、経験の中で対処法を身につけ、有利な関係性を得ていかなければ、森林もその周辺の街も、いまよりもっと危険な場所になってしまいます。私たちの『適切な森林利用』が将来の安全につながります。下図もご参照ください。

山林内でヒグマと危険な出会いをしないために・・・



それでも出会ってしまったら!?

| | |
|-----------------|--|
| ○ すべきこと | <ul style="list-style-type: none"> 立ち止まる 落ち着いて観察 同行者同士で集まる 背を見せずに、歩いて離れる |
| × しないほうがよいこと | <ul style="list-style-type: none"> 大声で悲鳴 物を投げつける 同行者と散り散りになる 背を向けて走って逃げる |

ヒグマと出会ったときの対応は・・・

| | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|
| <p>①ヒグマが遠いとき</p> <p>ゆっくり静かに立ち去る</p> | <p>② ヒグマがこちらに気付いておらず、近づいて来るとき</p> <p>ゆっくり静かに後退する。おだやかに声をかけて気付かせる。クマ撃退スプレーがあれば準備</p> | <p>③ヒグマが逃げ去ったとき</p> <p>ゆっくり静かに立ち去る</p> | <p>④ヒグマがにらんでいる。吠えている。近づいて来るとき</p> <p>ゆっくり静かに後退する。クマ撃退スプレーがあれば準備。立木の背後に回り込み、突進経路を遮りながら</p> |
|-------------------------------------|---|--|---|

ヒグマと距離をとりながら・・・

| | |
|------------------|--------------------------------|
| ①ヒグマと十分に離れたとき | →通常の警戒レベルに。 →出会った場所には戻らない。 |
| ②ヒグマがしつこく付きまとうとき | →引き続き、背を向けずに後退。同行者と離れず、協力して下山。 |

危急の際、持ち物を置くと時間稼ぎになることも。ただし、いちどヒグマが触れた物は、ヒグマが去っても回収しないこと。出来るだけ早く、村役場か警察へ連絡し、救援要請。

接近が止まらない!! 接触されたら!?

クマ撃退スプレーがあればヒグマの顔面に向けて噴射

クマ撃退スプレーがないとき噴射が終わっても効かなかったとき

→ダメージを低減する防御姿勢 腹ばいになり、手を組んで首を保護。

→素手や刃物、鈍器での積極的な反撃。

・・・どちらが有利か、見極めは難しい

酪農学園大学令和8年度調査研究活動計画意見交換会ご案内

しるこはびません

おなじみ野生鳥獣管理学研究室（通称伊藤ゼミ）の今年の村内活動について、地域のみなさまに周知を図りたく、教官と担当学生による計画発表と質疑応答、意見交換の場を設けます。小中学生にもわかりやすく説明します。参加ご希望の方は下の担当連絡先へご一報ください。

5月15日（金）15：30～17：30 占冠村総合センター（村役場）2階 視聴覚室にて

